

2021～2022年度(5～6年目)の 活動報告(総括)

仁 田 智・千 葉 裕

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)は、おかげさまでこの4月から7年目に入りました。活動状況等は各号のコンサルタンツ北海道の活動レポートとして報告させていただいているとおりでありますが、改めて、本会発足の背景や目的等を概説するとともに、2021～2022年度(5～6年目)の活動結果等を総括します。

2. ミライ研の活動目的等

(1) 活動目的と内容

ミライ研の活動目的や内容は以下のとおりです。
(活動目的・対応する活動内容)

①高等教育機関の理工学系教育現場(大学・高専・工業高校等)における支援事業活動を通じて、技術士資格(制度)の説明と理解促進、技術士の知名度向上を図るとともに、技術者・技術士を目指す学生(未来の技術者)等を増やす。

⇒「技術士を知ろう！」(出前講座)の実施

※青年技術士交流委員会(青技交)での試行を引き継ぎ、本格実施へと移行。

②あわせて、この支援事業活動(講演等)を通じて技術士自身も未来を見据え、若手技術者が生き生きと働くために必要な環境づくり(意識改革、人材育成等)について研究・実施する。

⇒「ミライカフェ」、「広場活用プロジェクト」の企画開催等

これらのことにより、技術士会活動の活性化に寄与することを目的として活動し、2020年度で4年1期の活動を終えましたが、引き続き継続活動できることとなりました。

(2) 「技術士を知ろう！」(出前講座)の概要

理工学系教育現場への出前講座「技術士を知ろう！」は、2008年度より青技交において試行し、2017年度よりミライ研にて運営等を担当しています。実施目的は対象現場(大学、高専、工業高校等)のニーズに合わせて調整等を行っていますが、概ね以下の3点を基本として実施しています。

①理工学系学生の“理工学系離れ”の抑制(卒業後の就職等)

②専門授業を受けた学生自身のキャリアデザインの一助(将来のイメージとして)

③技術士資格(制度)の説明と理解促進、技術士の知名度向上、資格取得の重要性、技術者・技術士を目指す学生(未来の技術者)等を増やす
また、2021～2022年度の実施経緯等は表-1のとおりであります。

この2年間はコロナ禍ではありましたが、多くの教育機関等からのオファーをいただき、年間6～7回の講演会を実施することができました。

(3) 「技術士を知ろう！」の実施体制と要点

出前講座「技術士を知ろう！」は、ミライ研で運営を担当しながら、講演者は青技交に協力を依頼する形で、連携して実施しています。これは、学生に近く、実務を最前線で担当している若手・中堅世代の言葉の方が学生に届くと考えているためです。

また、講義を専門とするプロの講演ではないため、1名当たりを最大20分程度、複数名の講演で構成し、学生に飽きられないように工夫しているほか、必ず事前にミーティングを行い、学生に伝わる内容になっているか等のプレゼン内容のチェックを行っています。

表-1 「技術士を知ろう！」実施経歴

年度	年月	対象
2021 (R03)	'21/06	北海道科学大学 工学部 都市環境学科(1年生ほか)
	'21/07	苫小牧工業高等専門学校 創造工学科 都市・環境コース(4年生)
	'21/10	札幌市立上野幌中学校 (3年生)
	'21/11	札幌工業高等学校 土木科(2年生)
	'21/11	北見工業大学 工学部 地球環境工学科 ・地域未来デザイン工学科(3年生ほか)
	'21/12	函館工業高等専門学校 社会基盤工学科(3年生)
2022 (R04)	'22/06	北海道科学大学 工学部 都市環境学科(1年生ほか)
	'22/09	苫小牧工業高等専門学校 創造工学科 都市・環境コース(4年生)
	'22/10	札幌工業高等学校 土木科(2年生)
	'22/10	北海道室蘭栄高等学校 (1年生)
	'22/11	函館工業高等専門学校 社会基盤工学科(3年生)
	'22/11	北海学園大学 工学部 社会環境工学科(3年生ほか)
	'22/12	北見工業大学 工学部 地球環境工学科 ・地域未来デザイン工学科(3年生ほか)

3. 2021～2022年度の活動報告(総括)

(1) 「技術士を知ろう！」実施の工夫点

ミライ研での実施にあたっては、これまで同様、学生からの「フィードバック」を行うためのアンケート調査を、以下の2つの目的で実施しています。

- ①実施した「技術士を知ろう！」の評価、振り返りと今後の改善策の検討への活用(フィードバック)
- ②出前講座「技術士を知ろう！」等の対外活動での対象者(学生等)の意識変化

特に2つ目は、ミライ研の活動に関する日本技術士会北海道本部の成果指標としての活用も視野に入れて設定しています。

また、この2年はコロナ禍での開催となったため、感染対策・現状等を踏まえた最適な実施方法の提案、具体的にはオンライン開催の他、会場を体育館や講堂にする等を組合せながら実施しました。

(2) 「技術士を知ろう！」活動報告

2021～2022年度の出前講座「技術士を知ろう！」の活動を総括すると以下のとおりとなります。

なお、個別の活動報告はこれまでのコンサルタント北海道における活動レポートを参照いただければ

幸いです。

〈対象校、学生数〉(アンケート回収数より)

- ・2021～2022年度は8校13対象に実施
- ・出前講座の聴講学生数合計：550名

〈アンケート〉

- ・わかりやすさ＝4.64(前回4.64)(5段階)
- 満足度＝4.62(前回4.72)(5段階)
- ※5がわかりやすい・満足、1がわかりにくい・不満

・「技術士」を初めて知った、名前だけ知っていた＝429/527(有効回答数)＝81.4%(前回75.1)

・「将来技術士になりたい」との回答＝419/544(有効回答数)＝77.0%(前回86.5)

前回アンケートとの比較では、“わかりやすさ”は前回集計時と同等で“満足度”が0.1低下しています。また“技術士を初めて知った”割合は前回より6%向上し、“将来技術士になりたい”の割合は約10%低下しています。アンケート結果から数値が低下している理由の1つとして、理工学系教育現場以外の場では、まだまだ技術士の知名度が低いとの結果が得られており、今後の課題と捉えています。

(3) 「技術士を知ろう！」は次のステージへ

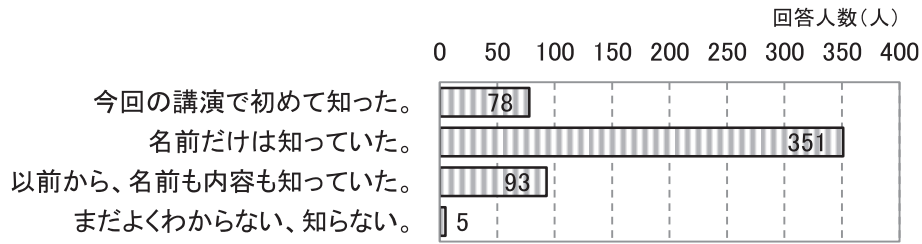
この数年間の「技術士を知ろう！」講演は、コロナ禍の影響から「オンライン開催」も実現してきました。ですが、やはり「対面」の方が、双方向のコミュニケーションが行われ、学生達の反応が良いことも再確認できました。

今後はコロナ禍の状況次第ではありますが、「対面」を基本とした形で講演会を開催できるよう工夫するとともに、理工学系以外の学生に対してもよりわかりやすい内容の講演会となるようブラッシュアップしていきたいと思えます。

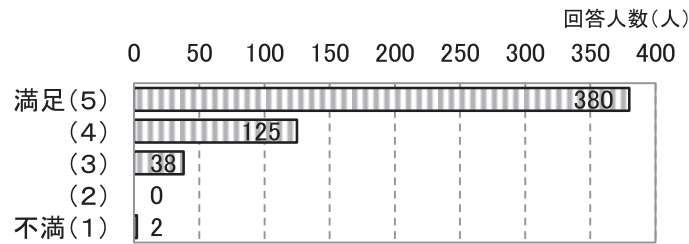
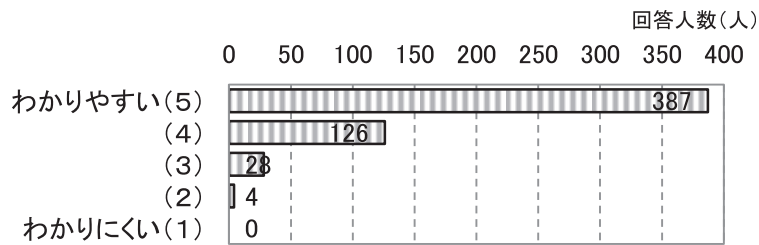
また、北見工大や苫小牧高専等の地方開催では、札幌からミライ研・青技交メンバーが遠征して、講演会を実施しています。唯一函館高専での講演会は、道南技術士委員会の連携・協力のもと、道南メンバーにも講演者およびスタッフとして参加いただき、講演会の開催が実現できております。

将来的には道内各地域委員会と連携・協力のもとで開催できれば良いと構想しております。

Q. 「技術士」という資格は知っていましたか？ (択一式回答)



Q. 今日の講演を評価してください。 (5段階評価回答)



Q. 将来、技術士になりたい？ (択一式回答)

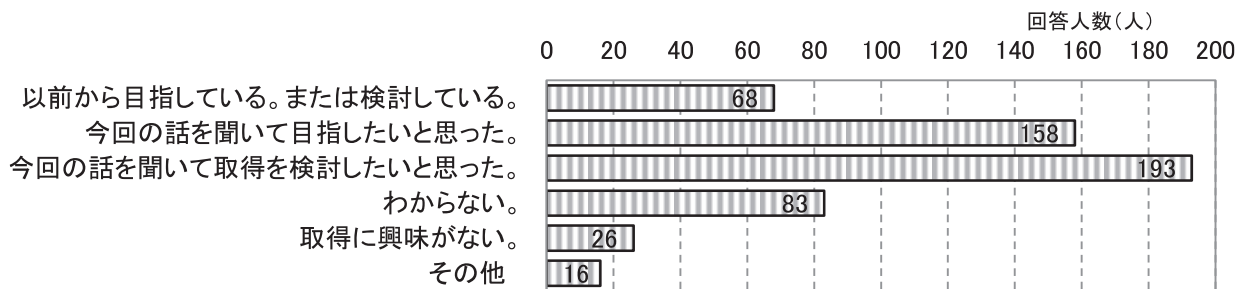


図-1 出前講座「技術士を知ろう」実施時アンケート結果(総括)

※ 2021～2022年度実施8校13対象、アンケートを回収した550名対象にした実施結果
(記入なしの回答もあったため、各項目の合計値は回収枚数と合致しない)

(4) 「ミライカフェ」活動報告

「ミライカフェ」は、ミライの技術士(技術者)が生き生きと働ける環境づくりに向けて、考え方の共有や意識啓発を図り、そこで得た知見や考え方などを成果にまとめ、広く普及を図ることが目的です。

また、カフェのようにリラックスし、休憩時間に少しまじめな話で盛り上がるような雰囲気の間を作り出せるよう活動を継続しています。

ミライカフェの実施経歴は表-2の通りですが、2024年の北海道大会(全国大会)にて、これまでの成果を発信できるよう取り組んでおります。

表-2 「ミライカフェ」実施経歴

年月	回数	テーマ
'20/02	ミライカフェ vol.1	働き方改革は必要か(プレスト)
'21/03	ミライカフェ vol.2	テレワークはミライの働き方を変える???
'21/09	ミライカフェ vol.3	チームで成果を出す(月で遭難ゲーム)
'22/03	ミライカフェ vol.4	個別の視点(みんなでアドバイス)
'22/07	ミライカフェ vol.5	若手の視点(若手が求める働く環境、働くために必要なこと)
'23/02	ミライカフェ vol.6	世代別の課題(世代ならではの働く環境、働くために必要なこと)

(5) 「広場活用プロジェクト」活動報告

広場活用プロジェクトは、札幌市東区元町会館前の広場を地域の交流拠点として活用することを目的に東区元町まちづくり連合会で進めているものです。

札幌工業高校は2018年度から土木科3年生の課題研究授業としてプロジェクトに参加しており、2019年度からは当委員会も同校を支援し、協力してプロジェクトを進めてきました。生徒たちはこれまで、広場活用の全体計画を進めながら、1年ごとに駐車場や園路などの設計・施工に取り組んでおり表-3のような広場が整備されてきております。「広場プロジェクト」の詳細については、コンサルタンツ北海道159号を参照願います。

表-3 「広場プロジェクト」実施経歴

実施年	取組内容
2018	ベンチ製作
2019	駐車場区画、全体計画・園路設計
2020～2022	やすらぎスペース計画・園路施工
2021	平板ブロック布設

4. おわりに～今後のミライ研活動に向けて～

ミライ研の主活動である「技術士を知ろう!」はこれまでの数々の経験を踏まえ、安定的な活動となりつつあります。また、「ミライカフェ」、「広場活用プロジェクト」の活動も、徐々に規模が拡大してきており、精力的に取り組むことができるようになりました。これらの活動推進は、各校や青技交の協力はもちろん、日本技術士会北海道本部の皆様にも多大なるご声援・ご助言等をいただいております。この場をお借りして、皆様に感謝申し上げます。

なお、2023年度より、ミライ研の活動をより活性化させるため副代表を置くことになり、仁田が就任することになりました。引き続き、ミライ研の活動にご期待いただければ幸いです。

表-4 第2期 技術者のミライ研究委員会体制

代表	小澤 正志(総監/建設)
副代表	仁田 智(総監/建設)
幹事長	千葉 裕(建設)
幹事	木本 光則、永井 登茂美、平岡 城栄、西村 力哉、鈴木 敬一、滝澤 嘉史、朝日 孝輔、三吉 憲一、寺西 一也、益子 直樹、永田 泰浩、宮下 謙次、源野 雄輔、堂領 弘昌、塩見 武、藤平 雅之、中前 千佳、中谷 幸生、原田 雄一、斉藤 裕俊、藤井 貴弥、森若 暖子

令和5年4月30日時点

仁田 智(にた さとし)

技術士(建設/総合技術監理部門)

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会
技術者のミライ研究委員会 副代表
株式会社 雪研スノーイーターズ
事業部 部長



千葉 裕(ちば ゆたか)

技術士(建設部門)

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会
技術者のミライ研究委員会 幹事長
株式会社 北海道水工コンサルタンツ
技術部 次長

